

彩の合気

編集発行
埼玉県合気道連盟

埼玉県合気道連盟機関誌NO. 24

私と合気道

所沢市合気道連盟

浅見浩一

私と合気道の出会いは10年前の定年の歳でした。所沢市合気道連盟の山上会長に伺い、稽古の見学に行きました。母と女房が興味本位に付いてきて、「歳を取ってからのあんな危ないものは止めなさい」と言って反対される始末でした。しかし、私は合気道にのめり込んで行きました。

2年後に3級になった時は嬉しかったですね。それから、週3,4日の稽古は休まずに精進しました。毎日毎日酒びたりの会社生活から抜け出して、晩酌もやめて、体も柔らかくなり、合気道が楽しくて仕方ありませんでした。

そして、2段に合格していた65歳の春の事です。新聞広告で「今でなきや、君でなきや、シニア海外ボランティア募集中(JICA)」を見ました。体が震えました。忘れていた合気道の海外指導に行きたいと言う「淡い夢」がよみがえったのです。11月に説明会に行きました。資料によるとトルコとモロッコで合気道の派遣要請が来ていましたが、資格は3段以上でした。そしてボランティアの条件は67歳から2年間派遣、69歳で定年という事です。私にはもう時間がありませんでした。あと1年の66歳中に3段を取り、赴任地を探さねばなりません。……結果はいろいろありましたが「シニア海外ボランティア」にはならず、自費でタイの深草師範を頼り、バンコ

クヘロングステイすることになったのです。

66歳6ヶ月(5月1日)3段合格、その4日後バンコクへ出発しました。合気道は月～土毎日稽古、木曜日初心者教室の指導。月水金はタイ語学校に通う生活でした。チェンマイ大学の大会、ラオスのJICA主催の合気道大会にも参加しました。ラオスの松長先生はあこがれのシニアボランティアでした。

タイの充実した合気道生活も母(91歳)の入院にて休止符を打たれ2年の予定を1年で繰り上げ帰国しました。その母も昨年退院後1年余で亡くなりましたが、大好きなタイとの交流は今でも続いており、年2,3回はバンコク、チェンマイで稽古しております。目的だった国際交流はささやかですが継続中です。

この歳になってタイで合気道中心の生活を送れたのも理解ある女房のお陰と感謝しております。

私は、5つもやっていたボランティア活動を止めて、タイへ行ったのですが帰国してからは合気道だけの生活になりました。もっと若くして入門していたら、会社内で「合気道部」を作ったことでしょうか。出身高校(深谷市)に「合気道部」を作るのが夢で、基金を寄付しました。私の道場では77歳の方が元気で稽古しています。私はまだ70歳、良き仲間にも恵まれており、これからも健康の許す限り楽しい合気道中心の生活を続けるつもりです。

道場紹介

「渦の御柱」と「サウディーヤ」

合気道猿田彦道場 渡邊曙光

道場は縄文中期集落「大東遺跡」内にあり、第二産業道路に面している。200メートル先はJR社員寮のある縄文前期集落「中原前遺跡」であり、その先の「山崎」の交差点は「貝塚」であったため発掘調査が長引き、この幹線道路の完成には10年以上の歳月を要したものである。現「猿田彦道場」はその頃(財)偕行社(旧陸軍将校の親睦団体)の埼玉事務局であった。第二次大戦後に解散したが学術研究を目的として復活したこの機関は、日夜先の戦争に於ける深い反省、及び生存者確認、遺骨探し等に明け暮れており、ここだけは終戦の決着に至っていなかったと云えます。

終結はひとつの始まりであるかのように「道場開きの儀」は古神道・佐々木の将人師範により司られた。靖国神宮神官を経た御子息、望鳳馨(よしのぶ)宮司の朗々として見事な祝詞に始まり屋外での最終神事に移行した時、奇跡は起こった。地下の奥深くに繋がる直径約2cmの穴が突然出現したのである。



将人先生は靈妙な徳により、これは「渦の御柱」であると断言された。その穴には過去も未来もなく現時点という今があるのみで、謂わば台風眼のようなものであった。何となれば、確かに存在していたはずの「渦の御社」は翌日になると跡形もなく消え去っており、いや寧ろ、夢のように過ぎ去っていたのです。

熊谷で38度を記録した今夏は、更に暑い国「サウジアラビア」より夏期稽古に子供達がやってきました。モナチヤン、マハチヤン、アハメッドクンは皆兄弟で日本人のお母さんの里帰りに同行して来たのです。強い太陽とのハーモニー、サウジの子等の笑顔は底抜けに明るく目映い限りです。お母さんのジュンコさんは「子供の頃この地で合気道を学んだ」とのことで、「我が子が本国で虐められぬよう相手を倒すのではなく、倒されない技を教えてほしい」との希望がありました。そのことは正に合気道の使命と一致するため、例え短期間であっても何歩かの前進を意図して出来る限り稽古量を増やしました。主には「入り身」、「当て身」、「体の転換」の反復稽古にこだわりました。つまり、「自ら入っていく事」、「知らせる瞬間の事」、「中心軸が安定している事」の三つです。再び真夏のアラビア半島に戻る日本の血を引いたこの子等に、このメッセージが体感記憶として息づくのであれば明日はまさしく今と成りましょう。

道場紹介

白岡合気会

代表 境澤吉正

平成十八年一月十四日、白岡町の勤労者体育センターにおいて、合気道の講習会が実施されました。代表の山田恒夫師範が「白岡の地に合気道を根付かせる」ため、町と何度も交渉を重ね、畳を購入してもらい、合気道が行える条件を整え実施されたものでした。当日の参加者は五十名を超え、東京理科大久喜合気道部のOBの皆さんや現役の学生の皆さんのお手伝いを頂き講習会は盛大に執り行われました。

その後、講習の参加者の中から合気道を続けたい人を募り、白岡合気会が、平成十八年四月正式に発足されました。毎週土日の朝六時半から稽古を行い、平成二十年四月には会員の数も二十名を超え、四歳の園児から七四歳のご年配の方まで、厳しくも楽しい稽古を行って参りました。山田恒夫師範も会の発足以来、お休みすることなく稽古をつけて下さり、会の多くの方々は二級を取得し、来年（平成二十一年）は、全日本合気道演武大会に参加することを目標に熱心に稽古を行って参りました。

すべてが順調に進んでいたかに思えた平成二十年四月二十一日、突然の悲しみが訪れました。私たちの代表であります山田恒夫師範が、大動脈瘤破裂のため急逝されたのです。葬儀の日、白岡合気会の皆さんも駆けつけ、深い悲しみの中、会の存続について話し合いました。山田恒夫師範が情熱を捧げて作り上げた白岡合気会を、このまま終わらせてしまうことは山田恒夫師範の遺志に反することではないかという意見が大半を占め、会の存続を決定しました。

現在では、大宮道場の市塚師範、久喜合気道同好会の川合代表、櫻井師範、その他多勢の方々のご協力、ご指導を頂き、一人の会員も欠けることなく活動を行っております。「たとえ細々でも稽古を続けることが大切だ」と日頃から仰っていた山田恒夫師範のお言葉を胸に、今後もしっかりと稽古を続けていく所存であります。

A&P 合気道大関道場

大関正美

皆様、始めまして、A&P 合気道大関道場です。本年度から埼玉県合気道連盟に加入させて頂くこととなりました。昨年できたばかりで、まだまだこれからの道場ですが、これから宜しく願い致します。

さて、大関道場は JR 武蔵野線と埼玉高速鉄道の交わる東川口駅から徒歩1分の所にあります。JR 武蔵野線のホームと電車から見る事ができますので、お近くにお越しの際は是非探してみして下さい。

稽古は、大人クラスは金曜を除く週6日、子供クラスは、木曜、土曜、日曜の週3日行っています。大関道場では、合気道の基本である「相手とぶつからない」ということを大切に、ケガなく、楽しく、長く続けてもらえるように指導しています。道場生は、ほとんど初心者ですが、皆さん大変熱心に稽古に励んでおり、道場はいつも活気に満ちております。稽古以外の時間も各行事や、飲み会などへの参加率も高く、和気あいあいとした雰囲気も多くの方が参加されています。子供クラスも、夏の合宿や冬のクリスマス会など合気道を通じての交流も盛んで、特に学区を越えた他校生との触れ合いが活発なのが特長です。

そして1年目を迎える今年は、そうした道場の活気と、立地条件の良さも手伝って、総勢100名を超えるまでになりました。オリンピックイヤーの今年は、人々の「和」のつながりが見直される時期だと思います。我々も合気道を通じて、「和」の精神を多くの人々に伝えて行きたいと願っています。

道場紹介

合気道研心会狭山台道場

畑山憲吾

この度、埼玉県合気道連盟に加盟しました狭山台道場を紹介します。狭山台道場は、合気道研心会本部道場として平成9年10月、狭山市狭山台に開設されました。合気道研心会は、埼玉・東京・神奈川地区に合わせて20ヶ所の道場があり活動しております。昨年6月、狭山台道場開設10周年の節目の年にあたり、演武会及び祝賀会が開催されました。祝賀会には合気道道主植芝守央先生、ご息子の充央先生をお招きして盛大に行われました。

狭山台道場は、子供クラス（4歳～小6）40名、一般クラス（中学生以上）50名の会員が稽古に励んでいます。稽古の目標として、子供クラスは「礼節・体力及び精神力の向上」を、大人クラスは「大きな・綺麗な・強い」合気道を課題に掲げ、毎回気持ちの良い汗を流しています。又、近くには狭山市合気道会、入間市合気道会があり、それぞれ交流して稽古に励んでいます。連盟加盟にあたりまして今後ともご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

埼玉県合気道連盟加入団体名簿

平成20年5月31日現在

団体名称	代表者	団体名称	代表者
合気道大宮道場	市塚 勇	A&P合気道大関道場	大関正美
合気道桶川愛気会	吉田忠明	A&P合気道田口道場	田口輝義
合気道川越道場	島田五郎	大成合気道会	関根章弘
合気道研心会狭山台道場	畑山憲吾	大宮合気道倶楽部	花香邦夫
合気道健武館	須野原勝	久喜合気道同好会	川合英統
合気道小林道場	小林弘明	熊谷合気研究会	古木得生
合気道猿田彦道場	渡邊曙光	越谷市合気道連盟	大島貞夫
合気道自然館	吾妻正義	狭山市合気道教室	山本久則
合気道関道場	関 太郎	志木合気会	三輪 明
合気道ふじみ野支部	酒井明雄	白岡合気会	境澤吉正
合気道和光支部	川路昌治	草加合気道研究会	中道一也
上尾合気会	黒須信彌	所沢市合気道連盟	山上三一
入間幸武館道場	関戸章弘	蓮田合気会	高松正勝
浦和合気会	林 昭男	深谷合気会	本橋幸夫
A&P合気道石垣道場	石垣晴夫	蕨合気道会	田中安彦